



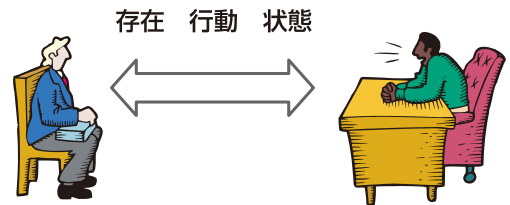
■キーワード

アウェアネス コミュニケーション支援 「忙しさ」判定 グループウェア
ヒューマンインタフェース

■研究の概要

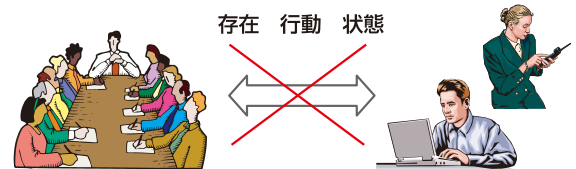
■アウェアネス(awareness)情報とは?

- ・相手の存在や行動、状態に関する情報のことで、対面コミュニケーションでは無意識に補われています。
- ・遠隔コミュニケーションでは不足しがちであり、電子メール、(携帯)電話などでは伝わらないし、また、TV電話でも開始以前には伝わらないものです。



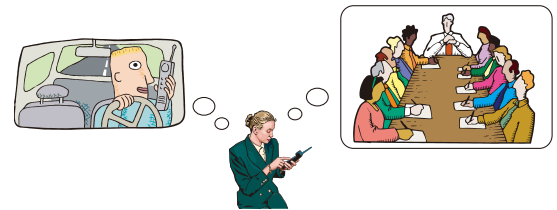
■アウェアネス情報がない場合

- ・会議中の割込電話
- ・出張中で読めない電子メール



■アウェアネス情報がある場合

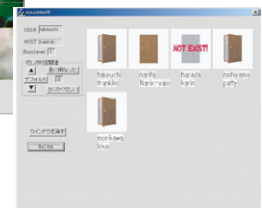
- ・適切なコミュニケーション手段の選択
- ・明示的なコミュニケーションの減少



■研究・技術のプロセス／研究事例

■具体的な研究内容

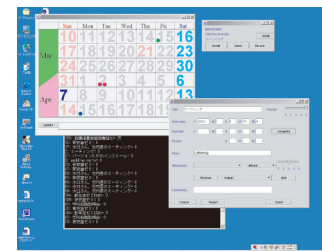
- 最初の段階として「忙しさ」に着目
- ・キーボード、マウス、ペンの使用状況から取得
- ・わかりやすい提示法の検討



■研究・技術のポテンシャル

■応用と今後の可能性

- ・グループウェアとの連携
- ・他のアウェアネス情報(身体動作、場所情報)の取得



■セールスポイント

割り込まれたくない度合いである「忙しさ」というアウェアネス情報を、ユーザに負担をかけることなく的確に判定することができます。

ヒューマン・インタフェース
アウェアネス情報を活用したコミュニケーション支援